

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立長吉出戸小

学校

児童数

47

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.24	19.22	34.89	40.00	43.00	9.33	175.17	23.94	55.12
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.48	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	16.50	18.14	36.64	35.95	31.36	10.14	160.33	13.62	53.10
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男女ともに、握力、立ち幅跳び、ソフトボール投げの3種目が全国、大阪市を上回った。それに加えて男子は長座体前屈、50m走、体力合計点が全国、大阪市を上回った。女子は上記の3種目以外は全国、大阪市平均を下回り、特に20mシャトルランは全国、大阪市との差が大きかった。体力合計点は、全国平均には届かなかったものの、大阪市を上回った。児童質問紙「運動やスポーツをすることは好きですか」の肯定的回答は、男子では全国、大阪市を上回ったものの、女子では全国、大阪市に届かなかった。運動やスポーツへの関わり方に関する質問では、男女ともスポーツを「すること」について肯定的な回答が多かったが、「みること」については男子の肯定的な回答が全国、大阪市平均を大きく下回った反面、女子では逆に上回った。1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、男子は26.4%で全国の9.8%、大阪市の12.7%と比べて多かったが、女子は11.8%で全国の17.3%、大阪市の20.0%と比べて少なかった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度は、より多くの児童が運動に興味をもって運動に取り組むことができるよう、学期ごとの運動集会の内容を工夫し、1学期に「大なわ集会」、2学期に「ドッジボール集会」、3学期に「鬼ごっこ集会」を設け、朝の時間を使って多様な運動に触れることができるよう学校全体で取り組んだ。

これらの取り組みを行った結果、男子では、「運動やスポーツをすることは好きですか」に対する肯定的な回答が昨年度より5.2ポイント増え、女子では2.0ポイント増えた。調査では、男女ともに、8種目中3種目は全国、大阪市を上回り、男子は8種目中5種目と体力合計点が全国、大阪市平均を上回った。これらの結果から、運動に親しむ取り組みによる成果が見られるものの男女差があり、今後は特に女子の運動・スポーツに対する興味、関心を喚起する取り組みが必要と考える。また、夏季の猛暑期間の児童の運動の場の確保についての工夫が必要であると考える。